

# 成果 (～2012年度) ミャンマー学校建設支援

## 「ミャンマーの子どもたちを笑顔にする学校建設事業」

ミャンマー連邦最大の州であるシャン州には多数の少数民族が居住しています。同地域は辺境であり、中央政府と内戦状態にあった少数民族武装組織の勢力下に長らくあったエリアもあったことから、社会インフラや住民の生活基盤の整備が都市部に比べ著しく遅れています。TOOTH FAIRYプロジェクトでは貧しい生活の中勉強したくてもできない子どもたちを応援するためにシャン州に10校の建設を行いました。



### 成果

- 2010年 ハード事業：学校10校建設
- ソフト事業：学校運営のための小規模ビジネス実施
- 2012年 歯科交流：日本歯科医師会役員2名訪問（歯科検診）
- 2013年 歯科交流：歯科医師9名訪問（歯科検診）

## 感謝の声

ヒットウー・サン君 (Mg Hit Htoo San, 10才、小学5年男子)：

新校舎は綺麗で広くて快適なので、新校舎で授業を受けることは楽しいです。

ゾウ・ミ・ウー校長先生 (34才) ビルマ族：

新しい校舎が完成すれば、正式な中学校を開講することができ、将来、村に高校を作るという夢に近づくことができます。

村から大学生を出すことが村の発展に必要です。

村に支援をして下さるという日本の歯科医師の皆さんの考え方は素晴らしいです。

皆様が幸せになるように心からお祈りしています。



歯ブラシを手にごきげん



TOOTHFAIRYノートをプレゼント



新校舎の前で記念撮影(2013年3月ホッポン高等学校)



TOOTH FAIRY参加歯科医院によるボランティアツアー  
(2013年3月パーヌエ公立小学校)



歯磨き練習中(2013年3月ホッポン高等学校)

# 成果 (～2012年度) 難病の子どもへの支援

## 1. 「日本初の小児がん専門施設が完成！」 チャイルド・ケモ・ハウス

小児がん治療中の子どもたちと家族のための「チャイルド・ケモ・ハウス」が神戸市に竣工しました。1年もの間、過酷な化学療法を受ける子どもたちの「おうちにかえりたい...」という希望をかなえ、一番苦しい時に、家族が一つ屋根の下に暮らし、共に病と闘うことができる環境が整いました。今後、人材育成などの準備期間をとり、2014年初頭の本格稼働を準備しています。



**成果**  
小児がん専門施設「チャイルド・ケモ・ハウス」  
所在地: 兵庫県神戸市中央区港島中町8-5  
概要: 19室のハウスと隣接した診療所で構成

## 2. 「日本初のハウス型小児ホスピスが間もなく完成します。」 海のみえる森

重い障害や治らない病気で生きられる時間が限られた子どもたちが国内に20万人。先が見えない介護生活に疲れきった家族にひと時の休息を提供する小児ホスピス「海のみえる森」。温かいスタッフやボランティアが孤立した家族に「ひとりじゃないよ。」という気持ちを伝えます。改修工事に伴う設計変更などで進捗が遅れていましたが、その間に体験宿泊会などで人材育成を進めてきました。2013年夏から改修工事を始め、2014年春の完成を目指しています。



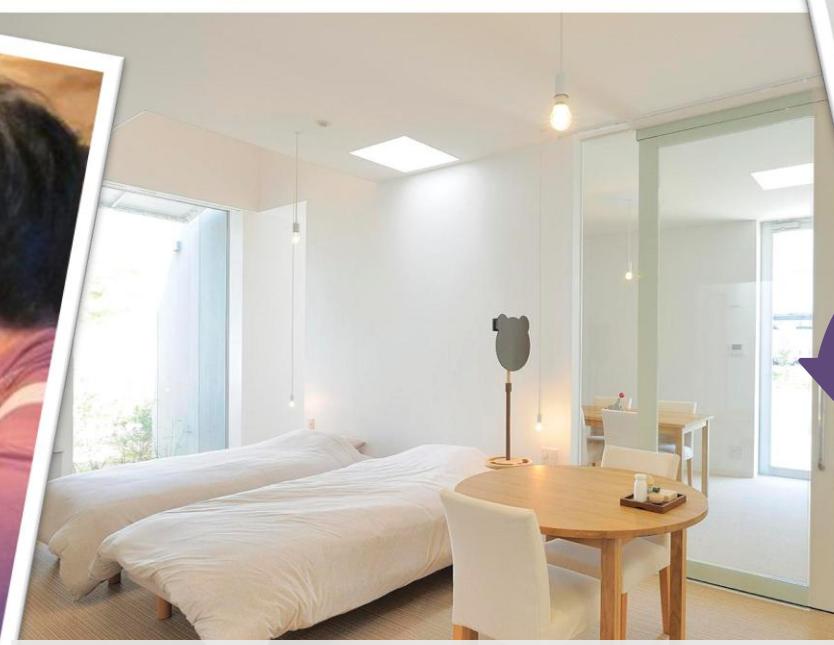
**成果**  
小児ホスピス「海のみえる森」  
所在地: 神奈川県中郡大磯町東小磯563番地  
概要: 大磯の豊かな自然に囲まれた21,000㎡の敷地に建つ上質な建物を改修。



チャイルド・ケモ・クリニック(2012年3月竣工、2013年6月診察開始)



平塚歯科医師会による難病児の歯科口腔チェック(海のみえる森)  
2012年5月



チャイルド・ケモ・ハウス内装(2013年3月竣工)



これまでの小児がん病室

# TOOTH FAIRYの今後

国内外の貧困や病気と闘う子どもたちを支える  
「TOOTH FAIRY」ブランドを、明確化。

また、寄付だけでなく歯科医師としての技術支援や、ボランティアとしての参加機会を創出し、物心ともに「歯科医師の社会貢献」として育てていきます。

## ミャンマー学校建設支援

北部シャン州及びヤンゴン南西部のイラワジ地域にて年間10校の学校建設を今後4年間継続。これまでの10校とあわせ50校の学校を建設します。  
また無菌科医村での口腔ケアや予防歯科の理念を育てていくことを目指します。



写真中央:和歌山県伊都歯科医師会 中島毅会長 (2013年3月ホッポン高等学校)

## 難病の子どもへの支援

先行する欧米の小児難病支援活動を、ハード・ソフトの両面から日本に合った形で構築。  
また、それぞれの活動の中に口腔ケアの支援をとり入れ、QOLの向上を目指します。



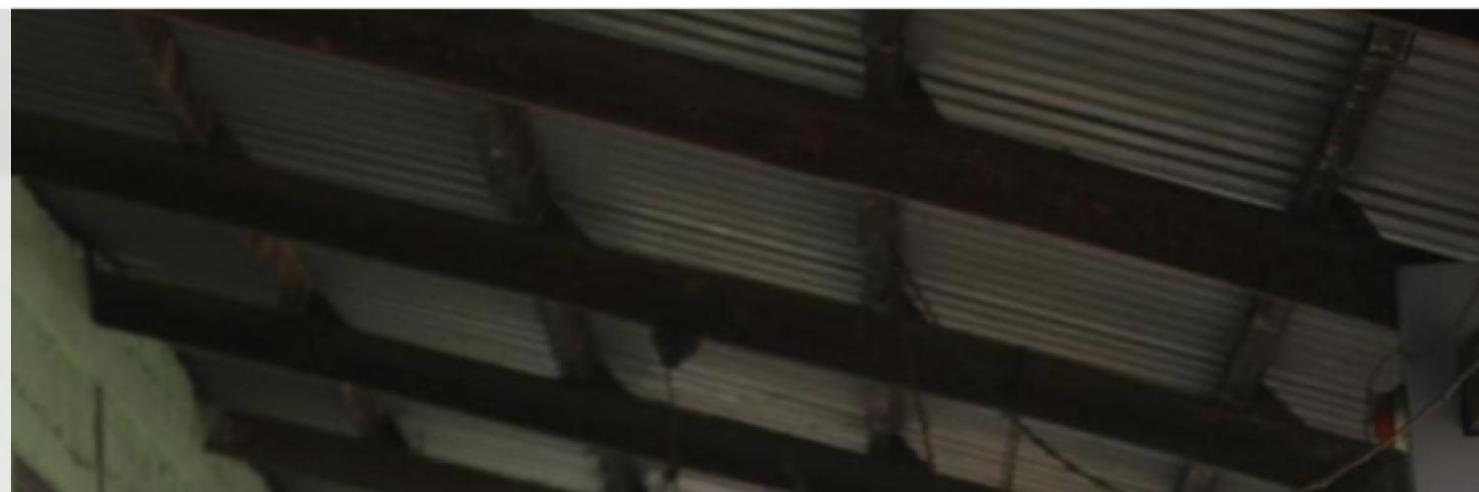
## 現状

### 高まる国際社会の注目

1988年の軍事政権発足以来、国際社会から孤立していたミャンマーに対する見方が昨今急速に変化している。中国、インドなど5カ国と国境を接し、東アジア、東南アジア、南アジアをつなぐ要衝に位置する同国は、2011年3月のテイン・セイン政権発足後、大統領とアウンサンスーチー氏との対話や政治犯の釈放などの改革を急スピードで進めており、2012年12月にはオバマ大統領が同国を訪問。今回の民主化の動きに後戻りはないと国際社会からの注目が高まっている。今年の東南アジア競技大会(SEA Games)開催、2014年のASEAN議長国就任、そして2015年には総選挙が予定されており、今後もミャンマーの存在感は高まっていくことが予想される。

### 親日的な国民性

ミャンマー人には熱心な仏教徒が多く、相手を立てて周囲との調和を重んずるなど日本人に通じるところが多い。また、大戦後初めて日本と戦後賠償を結ぶなど親日的な色合いが強い国でもある。ASEAN最後のフロンティアとも呼ばれた親日国ミャンマーにおいて、インフラ整備や教育環境充実といった社会的基盤の強化が求められており、日本がこれまで同国と築いてきた良好な関係を活かした国民生活向上のための支援が今求められている。



## 目標

貧困や学校の不足から学校に通うことのできないミャンマーの山岳少数民族が多く居住するシャン州及びヤンゴン南西部のイラワジ地域に今後4年間で40校、合計50校の学校建設を目標とします。同時に学校の持続的運営と村落開発を進めるため、小規模水力発電施設やマイクロクレジット事業などを立ち上げます。学校建設を通じた発展的な事業目標は以下のとおりです。

- ①校舎建設(ハード)と収益事業(ソフト)の両面の支援により、子どもたちが教育を受けられる社会経済環境を作る。
- ②正規教育を受ける児童を増やすことで、高等教育への進学の可能性をより多くの子どもたちに開く。
- ③治安上の問題から立ち入ることが出来なかった地域にもタイムリーな支援を行い、ミャンマー全土の安定した発展を支える(2013年度事業計画では南シャン・ルエリン郡が該当)。
- ④トイレ・雨水タンクを学校に設置。地域全体の公衆衛生を改善。
- ⑤日本の子どもたちとの交流を通じ、お互いの暮らしを知り学び合う。 ※
- ⑥TOOTH FAIRY歯科医師によるボランティアツアーを実施。口腔教育で口と歯の大切さを学ぶ。
- ⑦口腔ケアの巡回啓蒙教育などを日本歯科医師会さまのご協力も頂きながら実施し、無歯科医村の口腔ケアのモデルを構築。 ※

一方的な支援ではなく、貧しいながらも懸命に学び、生きる子どもたちから、生命力の強さや家族の絆を学び、共に高めあう関係を目指していきます。

※ ⑤と⑦の詳細は計画中



## 事業1 ミャンマー シャンおよびイラワジに10校の学校建設

- ①対象地域:ミャンマー連邦共和国 シャン州(北シャン・南シャン)及びイラワジ地域
- ②建築校数: **10校**
- ③平均仕様:
  - ・生徒の数に応じ、概ね3-5教室
  - ・木骨・平屋でレンガ造り
  - ・机、イス、黒板、雨水タンク、トイレ付
- ④受益者層:生徒約**2,500名(10校)**、先生、保護者を中心とした村全体
- ⑤工 期: **2013年9月～2014年3月(予定)**
- ⑥その他 :本事業には、村落開発事業として、各学校建設地域において小規模水力発電やマイクロファイナンスなどの収益事業を立ち上げる費用を含みます。  
地域が自立的・持続的に学校を運営できる環境を整備するものとします。

■プロジェクトパートナー:NGO セダナー、NPO れんげ国際ボランティア会

■支援金額:400,000米ドル(約40,000,000円)  
(40,000米ドル×10校分(村落開発費を含む))

※イラワジ地域はハリケーン多発地帯につき、建築物を強固にする必要があるため、平均40,000米ドル/1校と算出しています。



2013年3月 ホッポン高等学校



## 現状

我が国の小児医療は世界最高の水準となり、これまで助からなかった子どもが生きられるようになってきました。その反面、呼吸器など生命を維持する医療機器の助けを借りなくては生きられない等、重度の障害をもつ子どもが諸外国よりも多い割合で、20万人もいると言われています。重症児を受け入れる小児病棟は疲弊し、集中治療室は満床状態が続いています。また、退院した後に看護する家族へのサポートは極めて弱い弱で、365日休みなく、外出もままならず、情報や支援者の少なさに体力的にも精神的にも疲弊し孤立しています。

欧米では1980年代から「小児ホスピス」の理念が認知され、多くの国で様々なサービスが展開されていますが、日本での取り組みは始まったばかりです。

## 目標

TOOTH FAIRYでは、先行する英国の小児ホスピスの理念である「子ども達の生活の質(QOL)の向上と家族のサポートに焦点を当て、苦痛を与える症状の管理、レスパイトケア、終末期のケア、死別後のケアの提供」を日本に合った形で育て根付かせていくことを大目標に、当面は以下の活動を充実させていくことを目的としています。

### 1.生活支援

#### ①寄付金で整備した施設への運営支援

完成した小児がん専門施設「チャイルド・ケモ・ハウス」及び、開設準備中の小児ホスピス「海のみえる森」での支援活動を安定的に行い、モデル事業へ育成できるようサポートします。

#### ②「キャンプ型」「アクティビティ型」小児ホスピスの実施

病気を持った子どもたちに特別に配慮した「自然体験キャンプ」を実施。大自然の中で病気のことを忘れ、笑顔で楽しい時間を過ごします。また、ディズニーランドやユニバーサルスタジオなど、子ども達が大好きな「テーマパーク」に家族をご招待し、バケーションを過ごしていただくアクティビティを実施。いずれも子どもたちの夢をかなえ、ご家族の「楽しい思い出」「すばらしい仲間」「明日を生きる力」「希望」を養っていきます。

### 2.施設整備

小児ホスピス等の施設整備は、準備が整った地域から実施していきます。現在、開設を目指し準備している施設は合計3施設。土地の確保や人材育成などの準備を進めつつ開設を目指しています。

### 3.難病児支援実務者ネットワークの構築

「TOOTH FAIRY小児ホスピスミーティング(仮称)」として、TOOTH FAIRYプロジェクトでネットワークされた、各地で活動する団体の実務者による、活動の連携や質の向上を促す研究・研修事業を実施します。

※いずれのプロジェクトにも歯科医師の皆さまのボランティア参加の機会を設け、また、口腔ケアなどのご協力をいただくことを計画しており、物心ともに「歯科医師の社会貢献」として、歯科医師と患者さんに愛されるプロジェクトとしていくことを目指します。

## 事業2

### キャンプ型小児ホスピス

#### 1. 「がんばれ共和国 セタキャンプ」の開催

- ① 日程: **2013年8月9日～11日**
- ② 場所: ゆと森倶楽部(宮城県蔵王町)
- ③ 参加: **150名**(難病の子供と家族・ボランティアを含む)
- ④ 内容: カヌー体験、乗馬体験、熱気球搭乗、芋煮会、交流会など。

■プロジェクトパートナー: 認定NPO 難病のこども支援全国ネットワーク  
■支援金額: 4,680,000円

#### 2. 「小児糖尿病サマーキャンプ」の開催

- ① 時期: **夏を中心に**全国49か所で開催(**2泊3日～7泊8日**)
- ② 場所: **全国49か所**の野外活動施設
- ③ 参加: 小児1型糖尿病患者／**約1100名**、  
ボランティア・医療関係者等／約4000名
- ④ 内容: 1型糖尿病の学習、各種検査(血糖値、眼科、歯科等)、  
調理実習、海水浴・登山、お悩み相談会など

■プロジェクトパートナー: 公益社団法人 日本糖尿病協会  
■支援金額: 4,840,000円



## 事業3

### アクティビティ型小児ホスピス

#### 「ウィッシュ・バケーション(難病と闘う子どもの家族全員旅行)」の開催

- ① 時期: **2013年6月～2014年3月 一回2泊3日**
- ② 場所: 千葉や大阪、九州にあるテーマパーク、ヘアーサロンなど
- ③ 参加: 難病と闘う家族 **30家族**
- ④ 内容: テーマパーク体験、家族全員の変身プログラム、  
難病の子供を持った家族同士の交流など

#### 難病と闘う家族の写真展と活動報告会

- ① 時期: **2013年6月～2014年3月 1回6日間×5回**
- ② 場所: 東京、大阪、仙台など
- ③ 参加: 難病と闘う子どもと家族、参加歯科医院、活動に興味を持って下さっている方等
- ④ 内容: ウィッシュ・バケーション事業に連動した写真展、  
トークショー、絵本の朗読、活動報告

■プロジェクトパートナー: 公益社団法人 難病の子どもとその家族に夢を  
■支援金額: 4,100,000円



## 事業4

# 難病児支援実務者ネットワーク の構築

TOOTH FAIRY小児ホスピスマーケティング(仮称)の開催

①内容: TOOTH FAIRYプロジェクトでネットワークされた、各地で活動する団体の実務者が情報共有するための会議、先進事例視察を実施。経験が浅く連携の少ない日本の小児難病支援の団体をつなぎ、切磋琢磨する機会とする。

②場所・回数: 実務者会議 **2回開催** 東京都  
先進事例視察 **1回開催** 北海道  
※難病児キャンプ場「そらぶちキッズキャンプ」を視察

③参加: TOOTH FAIRYプロジェクトパートナー(TOOTH FAIRYの支援を受けている団体及び、受けることを計画している団体)を中心に、難病児の支援を行う**8団体**を予定。

■プロジェクトパートナー: 公益財団法人 そらぶちキッズキャンプ  
■支援金額: 2,500,000円

## 1. ミャンマー学校建設

■プロジェクトパートナー: NGO セダナー、NPO れんげ国際ボランティア会  
■支援金額: 400,000米ドル(約40,000,000円)  
(40,000米ドル×10校分(村落開発費を含む))

## 2. キャンプ型小児ホスピス

2.-1

■プロジェクトパートナー: 認定NPO 難病のこども支援全国ネットワーク  
■支援金額: 4,680,000円

2.-2

■プロジェクトパートナー: 公益財団法人 日本糖尿病協会  
■支援金額: 4,840,000円

## 3. アクティビティ型小児ホスピス

■プロジェクトパートナー: 公益社団法人 難病の子どもとその家族に夢を  
■支援金額: 4,100,000円

## 4. 難病児支援実務者ネットワークの構築

■プロジェクトパートナー: 公益財団法人 そらぶちキッズキャンプ  
■支援金額: 2,500,000円

# 合計

4分野5事業

56,120千円

※1.ミャンマー学校建設はレートにより変動。



# ハード整備計画の予定 (小児ホスピス、2014年度～)

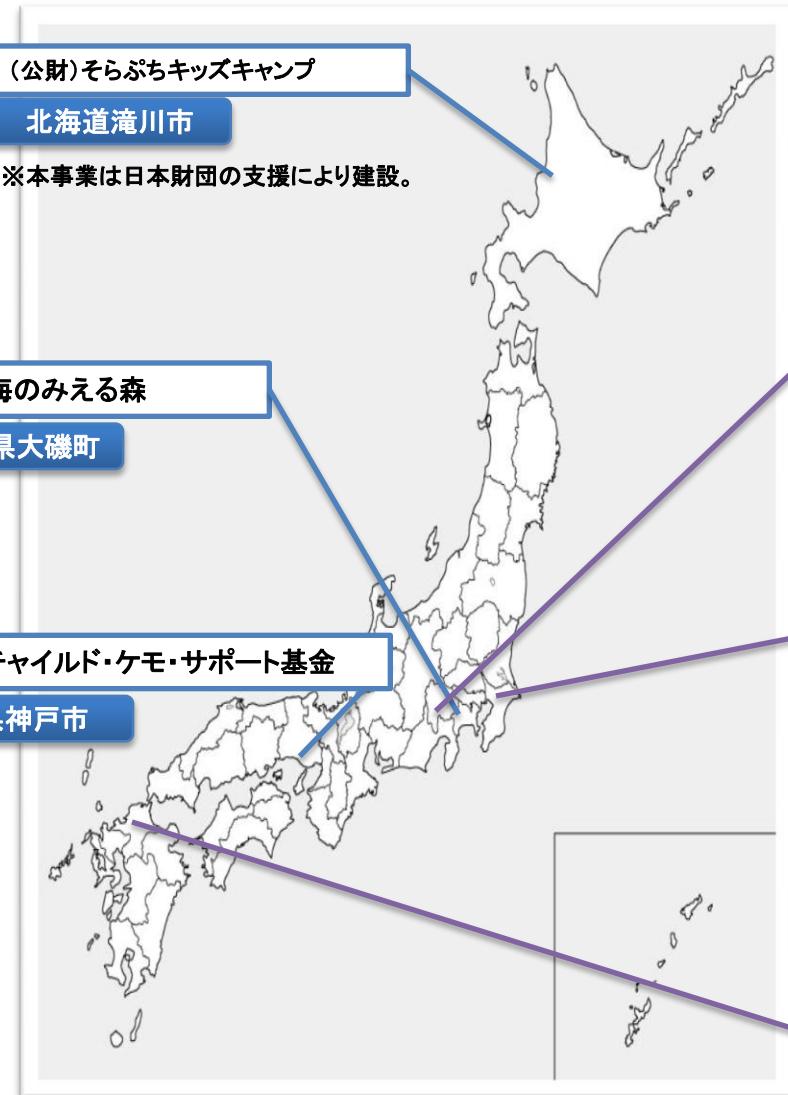
## ■凡例

青:実施済み

紫:計画



:TOOTH FAIRY支援事業



(公財)そらぶちキッズキャンプ

北海道滝川市

※本事業は日本財団の支援により建設。

(一財)海のみえる森

神奈川県大磯町

(公財)チャイルド・ケモ・サポート基金

兵庫県神戸市

(認特)難病のこども支援全国ネットワーク

山梨県白州町 ※整備計画を作成中

八ヶ岳や甲斐駒ヶ岳を臨む自然豊かな山梨県北杜市白州町の約3,000坪の敷地に、自然散策や農業体験などができる小児レスパイト施設。難病の種類に関わらず、病気に向き合う子どもと家族へ、最適な時間と思い出を提供します。好きな時にいつでも訪れて自然を楽しむ「みんなのふるさと」作りを目指して行きます。

(公社)難病のこどもとその家族へ夢を

大阪or千葉 ※整備計画を作成中

ディズニーランドやユニバーサルスタジオは、一度は行ってみたい子ども憧れの場所です。難病を抱える子どもたちは、宿泊場所や移動などの制限から、その憧れを実現できないでいます。この小児レスパイト施設では、テーマパークに比較的隣接した立地と来園時のアテンドサービスで、その憧れの実現を後押しします。また、施設での滞在時には、ゆっくりと人の目を気にせずに、心休まる空間を提供することで、難病と闘う子どもと家族の癒しの時間作りを大切にします。

(任)福岡子どものホスピスプロジェクト

福岡県福岡市 ※整備計画を作成中

九州大学跡地を利用して整備予定。